

嘉穂劇場杯出場団体

1. 和太鼓歓韻KANON

2007年活動を開始し、福岡を中心に活動を行っています。普段は地域での演奏ばかりですが、今回初めてコンクールに参加させていただきました。一打一打しっかり打ち込み、練習の成果が出るよう一生懸命演奏いたします。よろしくお願いたします。

2. 九州産業高等学校和太鼓部「紫焰楽」

九州産業高等学校和太鼓部「紫焰楽」は、4月より創部8年目を迎えることとなります。令和2年度は部員総勢80名で活動してきましたが、コロナ禍による自粛ですべてのイベントが中止となりましたが、卒業式前日の2月28日、感染症対策を万全に行ったうえで、和太鼓部初となる第1回定期演奏会を開催することができました。令和3年度も部のスローガンである「一心」のもと、心一つにして日々の活動に精進し、新たな足跡を残せるよう努めていきます。

3. 竹下太鼓ジュニア

竹下太鼓は昭和63年に福岡市博多区竹下の商店街の女性たちより、町おこしのために創設されました。ジュニアチームは後継者育成のために平成5年に発足し、その演奏曲は先輩から後輩へと受け継がれていっています。本日演奏する「博多の祭り」では、子ども達を中心とした小さな町の祭りから、山笠のように博多の街が一体となって開催される勇壮な伝統行事までを、小学1年生から高校生までが心を合わせて表現します。一生懸命に演奏しますので、応援宜しくお願いいたします。

4. おおの大文字太鼓

今年は定期演奏会も中止になり、いろんな事に我慢してきた一年でしたが、最後にみんなで同じ舞台上で演奏できて嬉しいです。メンバーみんなで一生懸命演奏します。

5. 和太鼓たぎり

和太鼓たぎりは泉湧く泌泉（たぎり）の里糸田町に伝統文化の伝承及び普及、地域の活性化を願い結成されました。糸田町には名前の由来となる「泌泉（たぎり）の坪」があり歴史的にも豊日別命（とよひわけのみこと）や神功皇后（じんぐうこうごう）などにまつわる伝説が今も数多く残っています。和太鼓たぎりとはこの泌泉（たぎり）の坪から脈々と湧き出る清らかなで且つ勢いに満ち溢れる水源のようにありたいと願い命名いたしました。驕る事なく泥臭く我武者羅にたぎりらしく演奏いたします。

6. 南ん子太鼓

私たち、「南ん子太鼓」は平成4年に発足し29年目を迎えております。今日は、この嘉穂劇場という歴史ある舞台上、仲間と一緒に演奏出来る喜びを感謝の気持ちをこめて一生懸命演奏致します。

7. 九州産業高等学校和太鼓部「百心一花」

九州産業高等学校和太鼓部「百心一花」は、4月より創部8年目を迎えることとなります。令和2年度は部員総勢80名で活動してきましたが、コロナ禍による自粛ですべてのイベントが中止となりましたが、卒業式前日の2月28日、感染症対策を万全に行ったうえで、和太鼓部初となる第1回定期演奏会を開催することができました。令和3年度も部のスローガンである「一心」のもと、心一つにして日々の活動に精進し、新たな足跡を残せるよう努めていきます。

8. 糸島二丈絆太鼓

糸島二丈絆太鼓は現在福岡県糸島市を中心に活動している太鼓集団です。

日本太鼓という伝統文化の継承を行いながらも、どのようにすれば子ども達も真剣に取り組む事が出来るかを考え続け実践しております。毎日の修練の発表の場をいただく事により、大きな達成感を得ることができ、自らが考え行動できるよう成長する事を大切な目標としています。主な活動履歴としてはソフトバンクホークス開幕戦2年連続出演、ジュニアコンクール福岡県大会にて複数回の優勝、イタリア、フランス、ブルガリア、シンガポールでの演奏活動、そして地元糸島を中心としたイベントへの出演があります。

9. 野和太鼓jr

暗雲の向こうに広がる蒼天の空を信じ、ひたすら練習に励んだこの一年、その思いをバチに込め！感謝を込めて！演奏致します。

10. 二丈太鼓「恬」

こんにちは、私達は糸島市を中心に活動している二丈太鼓「恬」（しずか）です。初心を忘れずにしっかりと打ち込みをしていきたいと思っています。今回は「祭祀の宴」という曲を演奏します。静かな中でも力強さを表現し一つ一つの音を大事にできるよう練習してきました。一生懸命演奏しますのでよろしくお願いたします。

ゲスト出演 我虜



倭太鼓 我虜(わろ)と申します。私たちは主に嘉麻市、飯塚市を拠点に活動しております。最近では、県外の方でも演奏をさせて頂いております。結成から6年を迎え、まだまだ若輩ではございますが、皆さま楽しんで頂けるよう精進してまいります。もし、ご覧頂ける機会が御座いましたら、お気軽にお声掛けください。本日はご覧頂いている皆様と一緒にステージを作り、盛り上げていけたら何より幸いです。

ゲスト出演 白蓮



糸島二丈絆太鼓のOB有志で結成され、糸島市を中心に活動しています。

遺贈で、子どもたちへ、贈り物を。



本写真は、説明用のイメージであり、本文とは直接関係ありません。

遺贈寄付とは、亡くなったあとの財産を、遺言書によって特定の個人や団体に寄付することです。

- 専門の相談員が、遺言書の書き方など遺贈寄付に関する相談や手続きを無料でサポートします。
- あなたの思いをかなえる遺贈寄付の活用先を提案します。
- 遺産の一部のみの寄付も、もちろん可能です。
- 手数料は一切無料です。あなたの大切な遺産をムダにしません。
- 資料請求いただいた方に、「自筆遺言書作成マニュアル」を無料でさしあげます。
- 日本財団は、遺贈の社会貢献活動への活用を進めています。
(※優遇税制を受けられる公益財団法人です。)

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

☎ 0120-331-531

ご質問・資料請求など、お気軽にお電話ください。
受付時間：平日9:00～17:00



遺贈寄付サポートセンター 🔍



令和3年

3月28日(日)

開場：12時 開演：13時

嘉穂劇場

主催：公益財団法人 日本太鼓財団
日本太鼓財団 福岡県支部

協賛： Supported by THE NIPPON FOUNDATION

主催者挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤和彦

このたびの新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

本事業は、太鼓の力強い響きによる感染症の終息祈願に加え、以前のように活動することが出来ない太鼓団体に対し、演奏機会の提供を目的に実施いたします。本日出演する演奏者も、多くの制限がある中、皆さまの前で演奏を披露することができるこの機会を楽しみに、今日まで練習を重ねてきました。ご来場の皆さまには、感染予防の観点から不便をおかけするご観覧となりますが、各団体の特色あふれる演奏を最後までごゆっくりお楽しみいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

結びに、開催にあたり格別のご支援をいただきました日本財団ならびにボートレース関係者の方々、運営にご尽力いただきました関係する全ての皆さまに深く感謝申し上げます。

日本太鼓財団 福岡県支部
支部長 川原邦裕



本日はふくおか和太鼓フェスティバルへご来場いただき、誠にありがとうございます。日本中を覆いつくす新型コロナウイルスは日本の文化芸能にも大きな影響を与えています。和太鼓の世界においても様々なイベントや大会が中止に追い込まれ、練習すらままならない1年となっております。

そのような状況の中、子ども達の演奏機会として、また、久しく触れることができなかつた本物の和太鼓の演奏を味わう機会として、公益財団法人日本太鼓財団とともにふくおか和太鼓フェスティバルを開催いたします。感染拡大予防の意識をしっかりと持ちながらイベントを開催し、この困難を皆様と共に乗り切っていきたいと考えております。

最後になりますが開催にあたりまして御尽力御協力賜りました、関係者の皆様、参加団体関係者、指導者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

本日のこのフェスティバルが出演者、関係者、お客様皆様の心に残るフェスティバルになることを心から願います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い事項

- ・公益財団法人日本太鼓財団から示されたガイドラインを基本とし会場キャパシティの50%以下での利用を前提に開催します。
- ・入場時にはマスクの着用をお願いします。(会場でもご用意いたします)
- ・入場時にアルコール等の消毒液にて手指の消毒を行っていただきます。
- ・入場時に全ての方の検温を実施し、37.5℃以上の発熱がある方や体調のすぐれない方のご入場をお断りします。
- ・感染拡大防止のため、会場内での飲食はご遠慮ください。
- ・換気のための休憩時間を複数回設定いたします。
- ・一斉退場を避けるため、終演後アナウンスをさせていただきます。

ゲスト出演 豊の国ゆふいん源流太鼓

天に碧空、地に源流

九州は由布院の地に古(いにしえ)より流れ続ける風あり。

それは風采となり、風光となり・・・。

やがて風情・風景・風習となり風土となった。

「太鼓叩いて天下泰平 天に碧空、地に源流」と風が唄う。

「太鼓叩いて五穀豊穡 天に碧空、地に源流」と風がまた詠う。

Beat of Yufuin

豊の国ゆふいん源流太鼓

それは男達の魂のリズムである。



<経歴・主な出演歴・受賞歴>

- 1979 ゆふいん源流太鼓発足
- 1985 日韓友好親善 韓国公演
- 1989 ロサンゼルス特別公演
- 1990 ハワイ太鼓コンサート
- 1992 韓国世界旅行博覧会日本代表 台北公演
- 1994 グラム太鼓コンサート、第1回でんつくでん音楽祭、大分県観光功労賞受賞
- 1995 国立劇場「日本の太鼓」出演、フィリピン・マニラ大学公演
- 1996 東ヨーロッパ公演ツアー、マニラ公演
- 1998 フィリピン公演ツアー、東アメリカ公演ツアー
- 1999 日本太鼓フェスティバル1 N輪島出演、発足20周年記念公演開催
- 2000 スペイン・バルセロナ公演、サンフランシスコ公演
- 2001 香港芸術祭公演、サッカーキリンカップオープニング公演、福島未来博覧会公演、群馬県国民文化祭オープニング及び公演
- 2002 日韓友好年祭公演(韓国5都市ツアー)、日本太鼓全国フェスティバル出演、ワールドカップ最終戦前夜祭、ワールドカップ大会会場オープニング公演
- 2003 福島太鼓フェスティバル
- 2004 ゆふいん源流太鼓25周年記念コンサート、「ゆふいん源流太鼓コンサート」、スペイン・バルセロナ公演
- 2006 モロッコ公演、中国公演、ベトナム公演等

2007以降も上海万博オープニング、フランス国際音楽祭等、海外60か国以上でのコンサート及び国民文化祭などをはじめ国内の主要イベントに出演、また国立劇場での「日本の太鼓」や伊勢神宮での「日本太鼓祭」にも毎年出演しています。

メンバー8人。それぞれ本業や学業を持ちつつ日々鍛錬を重ね、日本全国及び海外各国で伝統文化である和太鼓の浸透及び発展に努めています。

<代表 長谷川義>

公益財団法人日本太鼓財団副会長、全九州太鼓連合名誉会長、台湾太鼓連盟名誉顧問、大分県観光功労賞、大分合同新聞社賞、北国新聞社賞等多数、2011年、石川県で開催された「日本太鼓シニアコンクール」で最優秀賞、文部科学大臣賞、名人位受賞

<メンバー>長谷川準・富永希一・小出龍也・小出翔五・恵藤良太・阿南晴大・藤田さくら

ゲスト出演 野武士

1998年結成

名前の由来である「野武士」とは、日本の戦国時代に主君を持たぬ自立し自活する武士のことであり、傭兵の如く戦を生業とし、刀や武器を手に常に戦場を求め諸国を放浪した侍のことである。

打賊 野武士も日本の伝統文化「和太鼓音楽」という主君の概念だけにとらわれることなく、独自のスタイルとアイデアを探求し、侍、魂、神仏、戦をテーマに掲げ斬新かつ大胆に日本古来の打楽器「太鼓」を駆使し「和」の美学を舞台表現している

時を経て、戦場の野武士から舞台の野武士へ...

魂を焼き尽くすまで生き抜く伝説の侍の名は今宵もまた、刀をバチに変え舞台戦場を駆け巡る。

「我ら浮き世を斬る者なり

その侍、いまだ死なず...

その刀、いまだ錆びず...

野武士、見参...



※活動内容一部のみ抜粋

- 2012年、中国上海「世界打楽器フェスティバル」日本代表
- 2013年、ドイツ、ミュンヘン記念公演
- 2015年、アメリカ、ロサンゼルス
「カリフォルニア日米協会」総会ディズニーホテルゲスト出演
- 2016年アメリカ ニューヨーク「9.11追悼公演」出演
- 2017年9月アメリカ ロサンゼルス、ラスベガス8カ所ツアー
- 2018年8月 ロシアモスクワ 10万人を超えるモンスターイベント「J-FEST2018」メインゲスト出演

ゲスト出演 勝山会～下関平家太鼓保存会～



1997年に市内平家踊り同好会から結成。古くから伝わる下関の郷土芸能、平家太鼓。この平家太鼓の特徴を生かしつつ時代の流れに乗り、メンバー自身が作り出す和太鼓の響き、創作和太鼓。勝山会はこの平家太鼓と全く違う創作和太鼓の2種類の演奏ができることを持ち味とし、下関市内にとどまらず、山口県内外においても演奏活動を展開。過去には、2015年には台湾公演、2017年には勝山会結成20周年記念公演を下関市ドリームシップ海のホールで行い多数の来場者を魅了。2018年に韓国釜山にて開催された朝鮮通信使祭に日本代表にて演奏し、異文化との交流も深めた。

若い感性の元で、郷土芸能である「平家太鼓」の保存継承と日本伝統文化である和太鼓の後継者育成、21世紀を担う子供たちの健全育成も行いながら、新型コロナウイルスにも負けず、観る人・聴く人達に迫力と感動が与えられる和太鼓の演奏ができるよう、日々感謝の気持ちも忘れず精進して参ります。